

1 【大会開催時における注意事項】

- 大会2週間前から大会期間中に緊急事態宣言の発令や新型コロナウイルスの感染拡大状況により大会を中止することがある。
- 感染拡大のレベルが高まった場合は、無観客での大会にすることがある。
- 発熱（体温37.0度以上）、咳、倦怠感などの風邪症状および味覚嗅覚を感じない者の参加を認めない。感染者、濃厚接触者と特定された者は、保健所及び学校医等の指示に従う。
- 選手、チーム関係者、役員、審判員は球場に入る際、必ずマスクを着用する。
また、試合時の攻守交代決定時や大会運営側ならびに審判員からの諸注意をチームに伝える場合は、各々マスクを着用して行うこと。
- 手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットの励行。
- 大会2週間前から当日の参加者の健康状態と連絡先などが明記されている名簿を提出する。
- 屋外利用施設内における唾、痰を吐く行為を厳禁とする。
- 感染者が発生した場合には、大会を即中止とする。
- 大会に参加した部員、顧問、外部指導者、審判員、保護者等に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合は、糟屋区市町村教育委員会連絡協議会、粕屋健康福祉事務所に速やかに連絡し、場合によっては、部員、顧問、外部指導者、審判員、保護者等の名簿を関係機関に公表する。
- 休校の場合は、大会出場を認めない。学年閉鎖や学級閉鎖の場合は、チームの大会への出場は認める。しかし、該当の学年や学級に在籍する生徒（選手）については、大会への参加は認めない。（チームが大会に参加するかしないかの最終判断は校長が判断する。）

2 【大会の実施方法について】

- 糟屋区中体連は、参加する生徒に対し参加同意書を提出させる。
- 各学校は、専門部が作成した感染防止対策、熱中症対策について、生徒、保護者等に説明、指導した上で大会に参加させる。
- 大会会場の密を避けるために原則トーナメント制とする。また、それに伴う予備選等を行わない。また、原則として競技会場あたり4チームを越えない範囲での大会を行う。
- 開閉会式等を行わず、試合開始時刻に合わせて会場に入る。球場への入場は、前チームが全員退場しベンチ等の消毒が完了してからとする。
- 競技終了後はベンチ、使用した用具等の消毒を当該チームで直ちに行う。

3 【大会会場について】

- 各市町村の施設使用ルールに従う。
- 1時間ごとにトイレの消毒を行う。トイレについては、「トイレのふたを閉めて汚物を流す」

「手洗いは30秒以上」の掲示をする。

- 手洗い場にはポンプ式液体または泡石けん、ペーパータオル（使い捨て）を用意する。
- 野球場の観戦スペースにおいては、イスに×マークなどを付けるなど3密対策を施す。
- 会場入り口、ベンチ内、観客席、本部等に手指消毒液を設置する。
- 救護に関わる者が使用するゴム手袋やフェイスシールドを用意する。

4 【参加者の対応について】

- 参加者は2週間前から当日までの検温を実施して会場に来る。
- 各学校顧問は体調確認表（顧問・生徒・保護者分）を会場責任者に提出する。
- 人との距離を2メートル確保する。ベンチ内では、一定の間隔を保つよう努力する。
- 練習および試合において、全選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控える。
- ベンチ内に居る時には、マスクを着用することを推奨する。
- 肌が触れ合うハイタッチなどは行わず、各々コミュニケーション方法を模索する。
- タオル、ペットボトル、コップ等の共有は避ける。
- ゴミは各自持ち帰る。
- 応援者については、観客席が「密」にならないように、一定の距離を保って観戦するようにチームごとに応援者に注意喚起を行う。なお、運営側でも、入り口などに張り紙を行ったり、放送による呼びかけを実施したりする。
- 保護者の応援については、大声を出さずに拍手等で応援するよう各学校から指導をしておく。また、鳴り物は一切禁止する。

5 【運営側の対応について】

- 体調確認表を作成し、大会当日に提出すること。参加チームだけではなく、大会運営スタッフや審判員にも体調確認表などの実施を行う。
- 大会開催の際は、試合間のインターバルを通常より長く設定し、選手並びに関係者の密集のリスクを回避する工夫をする。
- 選手やチームを集めるなど、密集することがないように配慮する。
 - ・試合前のマナーチェック、道具チェックは十分な距離を確保して行う。
 - ・試合前後の整列、あいさつはベンチ前で行う。
- 各専門部は、清掃スケジュール表（担当中学校名、顧問名）を作成し、実施する。

6 【熱中症の対策について】

- 4回終了時に給水タイム（5～10分間）を設ける。
- 各自またはチームで、十分な水分を準備し、ベンチに戻ったときに、こまめに給水をする。
- ベンチ内ではマスク着用を推奨するが、熱中症予防で必要に応じてははずす。マスクをはずした際は、会話を控えたり周りとは十分な距離をとったりするなどの対策を講じる。